

内野PTのリハビリ講座

こんにちは、理学療法士の内野です。日常生活の中で、一つのことに集中しながら動作を行うことは少なく、複数の課題を同時に行なっています。この複数の課題を同時に行う能力が低下すると、転倒するリスクが高くなります。そこで今回は、座って行える『体と声を使った運動』を紹介します。



イスに座った状態で『野菜の名前』や『動物の名前』などの単語を思い浮かべて、**足踏みをしながら5秒間隔で名前を言います。**



ぶどう



りんご

足踏み

+

〇〇の名前

(写真の例は果物の名前)

すいか

ばなな

『あ』から始まるもの、など頭文字を指定したり、『緑の食べ物』など、色でわけて行なっても良いでしょう。

座って行うため、一人でも安全に出来ます。なかなか難しいですが、ぜひチャレンジしてみてください。



お心遣いへの断り

弊社では、ご提供する介護・障がい福祉サービスに対する皆様からの謝礼、贈り物等につきましては、固くお断りいたしております。何卒ご理解の上、ご了承下さいますようお願い申し上げます。

代表取締役 花元 照美



ひゅーまんだより

平成30年4月号

今年は桜がきれいな春ですね。

「もみの木」・「つばき」のデイサービスと

「おひさま」では、3月最後の週にお花見に出掛けました。

帰ってこられる利用者様やお子様たちの笑顔に

元気を頂いている職員一同です。

平成30年度も皆様が笑顔になれるサービスを

提供出来るよう精進して参ります。



ヒューマンホールディングス株式会社

ケア・サービスもみの木
もみの木ケアプランセンター
シニアコミュニティもみの木
もみの木相談支援センター

〒820-0004
福岡県飯塚市新立岩1451番地1
電話:0948-26-8338

シニアコミュニティつばき

〒820-0084 福岡県飯塚市椿123番地7
電話:0948-29-5366

おひさま

〒820-0001 福岡県飯塚市鯉田1140-2
電話:0948-21-0777

もみの木 つばき

検索

春の空き巣に気をつけましょう！

暖かくなってくると、全国的に空き巣被害が増えてきます。九州内でも福岡県は空き巣被害がひどく、その被害のなかでも鍵や戸締まりをしていない「無締り」が53%を占めています。春は行楽シーズンや、暖かくなることで窓を開けっ放しにしていることが多く、空き巣被害にあう原因となっています。

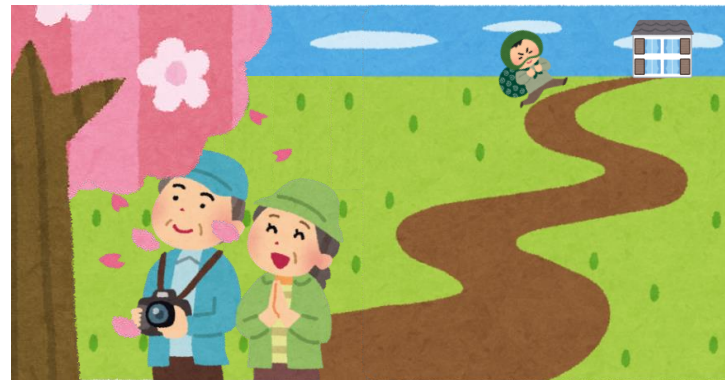
空き巣は、カギを壊すより、開いている家を狙う、ということです。「今どき留守にするのに施錠しないなんて人がいるのかな」、と思われるかもしれませんが、意外なところに心のスキが生じるようです。

あまり神経質になってもいけません。ゴミ出しや近所への買い物など、**短い時間の外出時でも施錠する習慣をつけることが重要**です。

さて、ちょっと視点を変えて侵入盗の行動に目を向けてみましょう。侵入盗はかならず下見をします。狙いを付けた家のどこから入るか、時間帯や侵入方法などを入念にチェックするのです。実際に行動に移す際は5分程と、極めて短い時間で行うといえます。

下見で注意すべきはインターホンです。侵入盗は、セールスマンや作業員のふりをしてインターホンを鳴らし、在宅・不在を確認するというのです。

不在であればその時間帯居住者がいないと判断するわけです。インターホンが鳴ると、つい居留守を使いたくなることもありますが、不在との情報を与えることとなります。そのまま侵入を試みる場合もあり、その際は鉢合わせをする危険性もあります。なんらかの方法で在宅を知らせることも必要です。



シニアコミュニティつばき 新職員紹介



機能訓練指導員 合田 透

初めまして。3月からシニアコミュニティつばきで機能訓練指導員の業務を行なっている合田 透と申します。早く環境に慣れ、お役に立つことが出来るように頑張ります。よろしくお願い致します。



送迎運転手 藤木 龍二郎

初めまして。3月17日よりシニアコミュニティつばきの送迎運転手として入社しました、藤木 龍二郎です。安全運転に心掛けて参ります。お気軽に声をかけて下さい。よろしくお願い致します。

勉強会 平成30年3月

「もみの木ケアプランセンター」と「もみの木相談支援センター」合同で、先月に引き続き「利用者理解のためのアセスメント」について学びました。

ケアマネジャーや計画相談員は利用者様から多くの情報を聞き取りします。利用者様が今どのような状況に置かれているのかで聞き取る内容も異なります。今回はその聞き取りのポイントを学び、現在担当させて頂いている利用者様の状況と照らし合わせながら確認していきました。

私達が正確な聞き取りを行うことで、利用者様の希望や訴えなどを素早く把握出来れば、利用者様の望む暮らしに早く近づけます。今後も利用者様に寄り添った個別性のある支援を行なっていきたいと思っております。



もみの木ケアプランセンター
もみの木相談支援センター

シニアコミュニティもみの木



シニアコミュニティもみの木では「**介護プロフェッショナルキャリア段位制度**」についての勉強会をしました。介護職員の技術の質を高めるための制度です。

現在、この制度に則って介護職員のキャリアアップを行なっています。入浴や食事・排泄介助など、もみの木では行っていないサービスについては、シニアコミュニティつばきにて行わせて頂いています。

資格（介護福祉士など）を持っていても、実践が伴わなければスキルアップに繋がりにくいので、このような制度を積極的に活用して今後も職員一人ひとりの技術を引き上げる努力をしていきます。

シニアコミュニティつばきでは「**食事介助の正しい方法・安全な姿勢・食事の準備・介助の手順**」の勉強会を行いました。

高齢者の食事の注意点を皆で再確認し、食事中に誤嚥などの事故が起こらないように、食事時の姿勢や事前の準備など食事介助をする際のポイントを学びました。

<食事介助のポイント>

- ①食事しやすい環境を整える
- ②安全な姿勢を確保する
- ③口腔体操などで唾液の分泌を促す
- ④水分の多いものから食べて頂く
- ⑤食事を急かさない など

利用者様に「おいしい!」「毎回の食事が楽しみ」と感じてもらえるような介助を行なっていきたいと思っております。

シニアコミュニティつばき



おひさま

おひさまでは「**児童に選択肢を示すことの大切さ**」についての勉強会を行いました。



自分で選んで決める『自己決定』とは・・・

- ①自分自身の生活や生き方について自己の意思や願いに基づき、**主体的に決定すること**
- ②選択肢から決めるために必要な方法を知り、**達成と解決を自ら行えること**
- ③選択した結果について**自ら責任を担うこと**

子供の頃から繰り返し『自己決定』を行っていくことで決断の責任をもてるようになり、それが自己形成に繋がります。

例：パズルとブロックをどちらかを選んでもらう。パズルを選んだ後ブロックがしなくなったら、責任をもって片づけをしてからブロックに移行するように促す。など

「自分で選ぶ・決める」、「できることは自分でする」、「したこと喜びや悔しさを味わう」などを体験させることを意識しながら、児童が『自己決定』していけるように継続的な支援をおこなっていきます。